

'89

No. 222号

3月号

ひまわり



2月23日開催の臨時議会で町長就任のあいさつより!

町長就任あいさつ

清潔で公正な町政の推進を

鹿部町長 相澤二三男



二月二十三日に開かれた臨時町議会において、町長就任のあいさつを行いました。

全職員が拍手で出迎え



初登庁で女子職員より花束の贈呈を受け、職員一人ひとりと固い握手をする相澤町長

平成元年の第一回鹿部町議会臨時会開会にあたりまして町長就任のご挨拶を申し上げます。

前川村町長の任期満了に伴うご勇退により、今回執行行われまして町長選挙におきまして、町議会議員の皆様を始め多くの町民の方々の暖かいご支持ご支援を賜り、幸いにも当選の栄によくすることができました。議員の方々そして町民皆様のご厚情に深く感謝とお礼を申し上げる次第でございます。

私の町政に望む具体的な所信は、三月の定例議会で申し述べるつもりでございますけれども、ただ私の政治姿勢だけはこの臨時議会で申し上げることが私の義務だと存じております。

現在の鹿部町では、漁業を始めといたしまして水産加工商工業、観光産業等諸般にわたって非常に活力がございます。町政もそれなりに立派に推進されていると受け止めておるのでございます。従って私は、基本的には川村町政を継承し、時代の推移を見極めながら、私なりに緩やかに改革を進めて行く考えであります。

又、私は立候補するにあたりましてスローガンの一つに「清潔で公正な町政の推進を掲げました」町民に幸せをもたらすための行政が不明朗なものによって左右されるのであってはならないのでありまして、政治こそ最高の道徳でなければならぬ、という強い信念をもっております。

今回の選挙は激しい選挙でありましただけに、多くの人々の心を傷付けました。理想主義者だと言われるかもしれませんが、選挙はもう終わったものであります。いたずらに選挙によって生じて参りました、精神的な葛藤や対立的なムードは極力避けて行きたいものと存じております。しこりは、出来るだけ解消して参らなければなりません。お互いに大きく包容しあう情愛に満ちた人間性の回復に私なりに努めて参りたいと存じております。

より良い町政を推進するための内部体制でありますけれども何と云っても町職員の積極的な努力と協力が大切であります。そのためには、伸び伸びと意欲的に仕事の出来る明るい職場環境を作って行く

ことが必要であります。外に對しては全体の奉仕者としての自覚の上に立ち、住民サービスに對する職員として、親切で好感がもてる町職員のイメージを高めて行くように強く指導して参りたいと存じております。

平成元年という意義深い年度を迎え、町議会議員皆様と手を携え、協力しあつて鹿部町の繁栄と町民皆様の幸せにつながる町政を進め、二十一世紀に向けて新しい鹿部の町の歴史を立派に築いて参りたいものだと念じております。

誠に微力ではございますけれども、私は選ばれた責任と町民皆様からいただいた信頼と期待に應えるために、豊かな郷土づくりと鹿部の発展を目指し、町民の対話と協調の基に活力あるまちづくりに情熱を傾けて努力する所存でございます。

どうか今後共一層のご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。私の就任のご挨拶にいたしたいと存じます。

議長就任あいさつ

正しく相たずさえて 五千町民の信託に 応える



鹿部町議会議長 高田 春吉

この度不肖私が、二月二十三日開催の平成元年第一回鹿部町議会臨時会において議員各位の御推挙により、鹿部町議会議長の要職につくことになりました。誠に身に余る光栄であります。

私は昭和四十八年二月鹿部町議会議員に初当選以来十六年間常に自から反省し、いささかも疑点を残さぬよう心掛けて参りました。もとより浅学非才の身であります。

町民皆様の心を心として民主市政の確立と円滑な町議会の運営に一身を挺して、その御厚志にお報いをする覚悟であります。

なお、議会の運営につきましては、不偏不党、公正無私の立場を堅持してまいる所存であります。

われわれ議会といたしましては、理事者といたずらに摩擦を起こすような事はもとより避けなければなりません。同時に安易な妥協に陥ることがあつてはならないと思つております。町勢発展のうえに立つて、正しく相たずさえて五千町民の信託にこたえなければならぬと考へておりますので、何分共町民各位の御協力のほどお願い申し上げます。議長就任の町民皆様へのごあいさつといたします。



議長選挙風景

議会構成決まる

町議会議員改選後初の臨時議会は、二月二十三日に開かれ、正副議長、各常任委員会の構成、特別委員会の構成、一部事務組合議会議員の選任、議会選出監査委員の選任等が行われました。

町議会議員改選後初の臨時議会は、二月二十三日に開かれ、正副議長、各常任委員会の構成、特別委員会の構成、一部事務組合議会議員の選任、議会選出監査委員の選任等が行われました。

- ▼正副議長
 - 議長 高田 春吉
 - 副議長 西谷 正昭
- ▼総務常任委員会
 - 委員長 川村 太一
 - 副委員長 佐藤 頼幸
 - 委員 船橋 竹治郎
 - 委員 毛利 武蔵
 - 委員 佐藤 佑二
- ▼民生文教常任委員会
 - 委員長 渡部 良次
 - 副委員長 川口 常行
 - 委員 川原 勝美
 - 委員 西谷 正昭
 - 委員 千葉 光義
- ▼産業建設常任委員会
 - 委員長 平 沢 浩
 - 副委員長 吉田 武雄
- ▼観光開発特別委員会
 - 委員長 吉田 武雄
 - 副委員長 川村 太一
 - 委員 船橋 竹治郎
 - 委員 毛利 武蔵
 - 委員 吉部 武夫
 - 委員 渡部 良次
 - 委員 西谷 正昭
 - 委員 平 沢 浩
- ▼茅部地区衛生施設組合議会
 - 議員 川村 太一
 - 議員 吉田 武雄
 - 議員 野田 重毅
- ▼渡島東部消防事務組合議会
 - 議員 川原 勝美
 - 議員 竹ヶ原 公勝
- ▼南茅部町・鹿部町伝染病隔離病舎組合議会
 - 議員 川原 勝美
 - 議員 平 沢 浩
 - 議員 竹ヶ原 公勝
- ▼鹿部町監査委員(議会選出)
 - 監査委員 船橋 竹治郎
- 委員 吉田 武夫
- 委員 野田 重毅
- 委員 竹ヶ原 公勝

平成元年 第一回鹿部町 臨時議会



議会風景

番号	事業名 (プラン名)	番号	事業名 (プラン名)
67	温水プールの設置 (簡易なもの)	81	「鹿部太鼓」の創設
68	温水プール建設 (民間管理)	82	町歌の創作
69	山村広場整備	83	鹿部音頭・鹿部賛歌の創作
70	山村広場遊具施設付近整備	84	町民プラスバンドの編成
71	山村広場ふれあい広場整備	85	ジュニア奴ツ子振り保存会の育成
72	野球場に夜間ナイター整備	86	鹿部温泉歴史館及びミンク資料館建設
73	スポーツ、文化の合宿の街づくり	87	郷土資料館 (仮称) 建設
74	キャンプ場の設置	88	郷土資料館
75	「鹿部ミュージックフェア」	89	社 (やしろ) の建造
76	リバーサイドコンサート	90	慰霊碑の建造
77	青空音楽会	91	温泉ボーリング及び温泉・温泉熱供給施設
78	ふるさと音楽会の開催	92	温泉を利用した露天風呂・ミニプール等の整備
79	(仮称) 鹿部太鼓	93	人材育成
80	「漁火太鼓」の創設		



渡島支庁総務課長より松川正さんに伝達

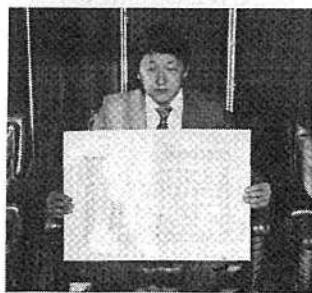


故松川 義雄氏

故松川 義雄氏 (元議会議員)
勲六等単光旭日章を受章

元鹿部町議会議員故松川義雄氏 () に、一月十七日付をもって勲六等単光旭日章が授与され、二月二十三日渡島支庁総務課長さんから町長助役立会のもと、五男の松川正さんに対して叙勲の伝達が行われました。
 松川さんは、昭和三十六年

第一義とし、鹿部、本別両漁港拡張整備など並々ならぬ努力と貢献をされました。松川さんの数多くの功績が認められてこの度の受章となりました。
 栄えある受章に心より敬意を表すると共に、松川さんのご冥福をお祈り申し上げます。



二月二十日、鹿部村議会議員となり、以後昭和六十年二月十九日まで六期二十四年の永きにわたり、常に地方自治伸展の推進役として卓越した指導力、統率力をもって議会運営に大きく努められました。
 この間、議会建設・産業・総務常任委員長を歴任し、現在の国道二七八号線の道々から国道への昇格、町民の切望する多目的グラウンド、山村広場の整備計画。更には、基幹産業で全住民の七五%を占める水産業の振興を図ることを

『ふるさと創生』事業推進、 意見・アイデア応募状況 (2月9日現在)

応募件数 93件

町民の方々が考えた「鹿部ふるさと創生アイデア」の
事業名(プラン名)をここに公表します。

番号	事業名(プラン名)	番号	事業名(プラン名)
1	漁業従事者自身の第2次加工技術の取得	34	田舎発都会行ホットライン運動
2	海洋水族館・海洋牧場	35	「いきいきライフ」
3	鹿部土の販売	36	海外漁村との交流
4	ウニ等の種苗施設整備	37	海産物直売
5	21世紀を生き抜くための漁業者の意識改革(瀬戸内海)	38	姉妹都市交流
6	21世紀を生き抜くための漁業者の意識改革(ハマチ養殖)	39	各地区に小公園
7	国際化時代に対応できる人材育成	40	町民公園のより一層の整備
8	うるおいのある街づくり運動	41	森林浴整備
9	「花いっぱい運動」	42	森林公園新設
10	町内花いっぱい and イルミネーション	43	「ふるさとの森形成」
11	「鹿部町のイメージ形成」	44	出来潤海岸地区の体験型観光レジャー基地として整備化
12	手をつなごう鹿部町	45	出来潤遊愛らん人(ランド)建設
13	町内美化運動(ユニーク・ゴミステーションの設置)	46	鹿部町観光の核づくり
14	ふるさとを災害から守る運動	47	「バイキング and ハイキングツアー」
15	街頭放送施設の増設	48	スカイスポーツ鹿部
16	駒ヶ岳噴火対策	49	観光ヘリポート基地設置
17	折戸川クリーン作戦	50	「海と温泉のまつり」規模拡大
18	下水道処理対策	51	「しかべ21世紀を創る会」事業団の創設
19	全家庭防犯ベルの設置	52	「鹿部21世紀を創る会」事業団の創設
20	ドリームロード建設	53	人材育成(世界に視野を)
21	サイクリングロード(ジョギングロード)散歩ロード	54	町民の「文化水準とスポーツアップ」構想
22	駒ヶ岳周遊ロード建設	55	国内・国外研修視察
23	駒ヶ岳一周ロード整備	56	チビッコハウスの建設
24	鹿部サイクリングロード建設	57	校外児童生徒活動施設の設置
25	「心なごむロード・黒松ロード」づくり	58	「鹿部少年の船」
26	白樺並木散歩道	59	シンボルタワーの設置
27	ピープルロード	60	「愛の鐘」テープの更新
28	鹿部・函館間、横津岳ハイキングコースの開設	61	幼稚園児・小学低学年用スクールバスの運行
29	漁場開発・調査試験船建造	62	動く本棚(ふれあい号)
30	鹿部地区総合漁場調査	63	高齢者生きがい対策
31	地域総合情報ネットワーク形成	64	温水プール建設
32	地域の情報化促進	65	温水プールの設置
33	函館NHK放送受信施設設置	66	温水プールの設置

子供のじごく
ゆきつこまつり
2/18

雪合戦や宝さがしゲームに
250人参加

二月十八日午後二時半から
山村広場で第一回子供のつど
い『ゆきつこまつり』が開か
れました。

当日は事前に申込みのあつ
た二百人を上回り、約二百五
十人の子供が集まり、学年別
の雪合戦、ミニスキーによる
ジャンプ競技、スノーホッケー
など時間を忘れて楽しんで
おりました。

会場には当初数基の雪像や
カマクラを作る予定でしたが、
あいにくの暖冬で準備できた
のは、ジャン台を備えたオー
バークラフトと大きなカマク
ラの二点だけでしたが、参加
者は無料で配られたおしるこ
をカマクマの中で食べたり、
ゲームに歓声をあげていまし
た。

雪はともだち
あつらは風の子



カマクラからハイポーズ



雪不足で運動会の紅白の玉を
使った雪？合戦



ミニスキーによるジャンプ競技



オーバークラフトに見えますか？

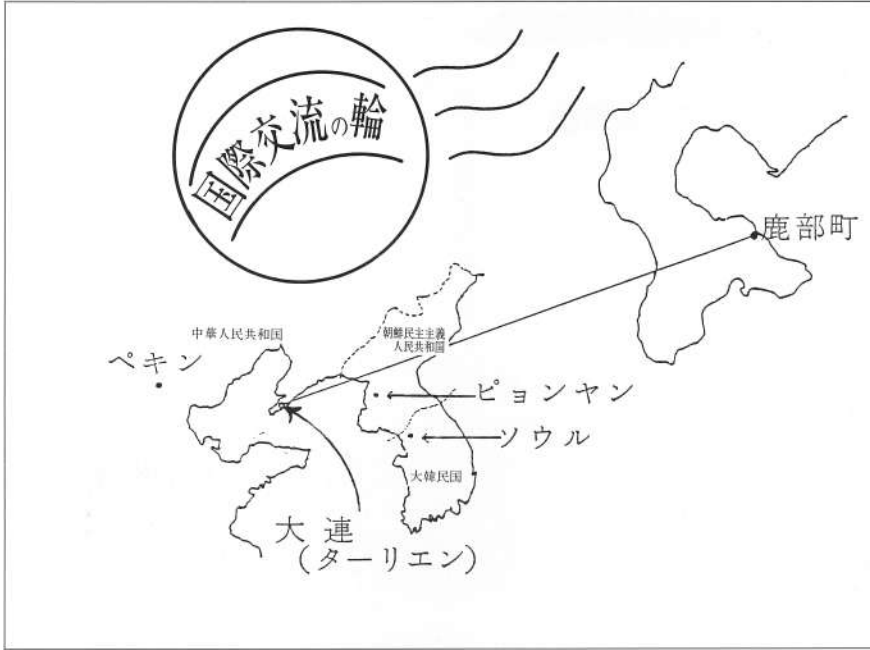


熱戦だったスノーホッケー

国際交流

磯貝トヨ子さん(本別530番地在住)
の橋渡しにより

鹿部小学校と中国大連市実験小学校 との国際交流始まる

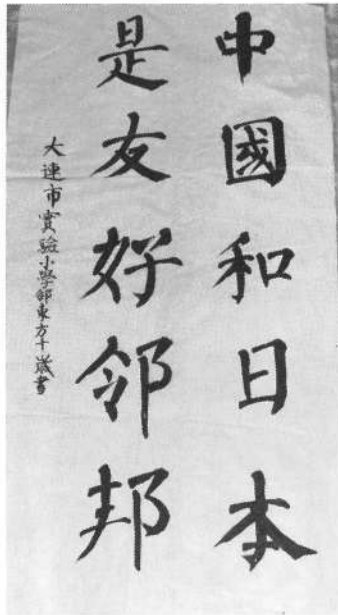


▲磯貝トヨ子さん

鹿部小学校と中国大連市実験小学との児童作品による交換国際交流が始まりました。今年一月には鹿部小学校から送った書初めに対して実験小学から習字14点と作文8点が送られて来ました。国際交流の橋渡しをしてくれた方は、字本別に住む磯貝



(9歳の作品)



(10歳の作品)

中国実験小学(校)の
交換作品

トヨ子さん(57歳)。磯貝さんは父親の仕事の関係で三歳から小学校五年生まで中国大連市におり、その小学校時代の同窓会(春日小学校同窓会)が昨年一月に行われ、その同窓会に磯貝さんの二、三年先輩で現在中国大連市の遼寧師範大学外国学部（遼寧師範大学）の先生をして、鹿部ライオンズクラブなどの協力を得て、「日本のカレンダー」を送りました。この金先生の紹介で中国実験小学校と鹿部小学校との国際交流が始まりました。

大連市は人口約150万人といわれ、今は重化学工業が盛んで、造船や輸送用機械の生産が多く、また石油精製、石油化学など化学工業も発展しているまちです。

小学校では毎年一、二回の作品交換による交流を続けて行くことにしています。

大連市

育成住民大会開催 2/25

テーマ

「望ましい環境づくりのために何をなすべきか」

半にわたって討議

- 意見発表 ① 僕たちの望む鹿部町……………古村 幸司(小6)
 ② 自然環境に恵まれた私の郷土…佐藤美佐江(中3)
 ③ 漁業と町づくり……………吉田 勝久(漁業)



望ましい環境づくりのため何をなすべきか——をテーマとした、昭和63年度鹿部町青少年健全育成住民大会が二月二十五日に鹿部中央公民館において行われました。

この大会は、町青少年健全育成町民会議(会長 佐々木

克三郎)が主催したもので、当日は二百五十人以上の町民が参加して行われました。

佐々木会長のあいさつに続き、昭和63年度の鹿部町健全育成標語の入選表彰が行われました。



次に三名の方の意見発表が行われました。意見発表では小学六年生の古村幸司くんが「僕たちの望む鹿部町」と題し、僕たちが生れ育った鹿部町がこれからも住みよく美しい町にするためにどうしたらよいかを具体的事例をあげて意見発表しておりました。

- 一、まちのゴミ拾い
- 二、花いっぱい運動
- 三、プールがあればいいな
- 四、あいさつと町づくり
- 五、交通安全道徳

この意見の中から「あいさつと町づくり」についての意見をご紹介いたします。

ぼくは、知ってる人には、あいさつをしますが、知らない人には、あいさつをあまりしません。なかなか素直に言葉が出てきません。ぼくは、あいさつというのは、勇気がいると思います。だけど、あいさつは人と人のふれ合う大切な言葉だと思うので、これからは、はずかしがらないであいさつをしたいと思います。だから大人の人達も、進んで気持ちよくあいさつして下さい。「おはよう」の一言で気分がよくなると思います。

続いて中学校三年生の佐藤美佐江さんが「自然環境に恵まれた私の郷土」と題し、漁業や自然環境についての意見発表がありました。次に漁業の吉田勝久さんが「漁業と町づくり」と題し意見発表がありました。吉田さんはこの中で自分の育ってきた子供時代と現代の子供達を比較して「物を見ると、あれ買って…お金を見ると、お金くれ…」などと物やお金に対する価値感が少なくなってきたのではないかと。又、自分の子供をしかる事があってもほめる事をしないように思える。子供達が良い事をしたら親も素直に子供をほめることも大切な教育だと思います。などと

昭和63年度

鹿部町青少年健全

250人が参加して3時間

教えることはむずかしいが 影響を与えることはできる

〔大会決議文〕

1. 家庭の話し合いを深め、相手を思いやる心を大切にします。
1. 社会参加を積極的に進め、町づくりに努力します。

意見発表されておりました。続いて、①親子・家庭の対話や、しつけの在り方は、どうあればよいか。②地域における子どもたちの善行・問題行動の実態把握と声かけは、どうしたらよいかを観点として五つの分散会に移りました。各分散会では、二つの話し合いの観点のほか、意見発表された三つのテーマについて熱心に討議しておりました。分散会では、町を美しくするには、自分の家のまわりを奇麗にすれば町全体が美しくなる……車の中から空缶をポイするのは道徳の問題……コンクリートなどで造られた公園などは本当の自然公園といえるのか……子供の教育は親の子供に対する力の入れ方文化祭や各種会議に参加する親の顔ぶれはいつも一緒。参加しないのか、できないのかもつと沢山の親が参加できるような方法を話し合うことも必要……などさまざまな意見が出されておりました。

再び大ホールで全体会に移り、五つの分散会の部会報告のあと、大会決議文を読み上げて提案し、全員一致の賛成で採択し、午後六時から九時

親と子の会話が 非行を防ぐかぎ

63年度青少年健全育成住民大会・標語

半までに及ぶ三時間半の住民大会は終了しました。

この大会の内容については後日、町青少年健全育成町民会議より発行されます「わかば」により全戸配布する予定になっております。

△入 選▽

○あいさつは 心と心をつなぐ いと

鹿部小学校四年 山口 富貴子

○あいさつは 友達つくる よい言葉

鹿部小学校五年 桜田 篤史

○作ろうよ きれいな心で 明るい町を

鹿部中学校一年 工藤 江利子

○悪いこと 注意しあえる 良い仲間

鹿部中学校一年 葛西 奈美

△佳 作▽

○「ありがとう」 感謝の心を 大切に

鹿部小学校四年 松本 美穂子

○あいさつは いつでも どこでも 元気よく

鹿部小学校四年 洪川 久美子

○いつも元気に あいさつを 心と心で道になる

鹿部小学校五年 松本 桂子

○つくろうよ みどりの町と あかるい笑顔

鹿部小学校六年 松川 多加子

○お父さん いつも見ている子どもたち

大人は子どもの 手本です

鹿部中学校二年 椎野 美香

楽しい日常生活を過ごすためのチェックポイント

- ☆心地よい睡眠のための… 枕の高さは7～10センチ・寝返りが打ちやすいせんべいぶとん
チェックポイント 通気性のよい木綿のねまき・陽によく当たったふつくらとしたふとん
- ☆台所や仕事での…………… 台所の高さは自分にあった高さで・台所ではカカットが1センチ高い
チェックポイント 健康サンダルも最適です・女性のハイヒールは低目を
1センチが生活を 変えます 一日中ネクタイを着用している方のワイシャツは首まわりが1センチゆるめを

人間の体と心は、あらゆる条件や環境に順応できるよつに、優れた機能があります。しかしそれも、年齢とともに少しずつ変化(老化)し、順応する能力が低下してきます。たった一センチのちがいで、体にさまざまな変化がでます。そのうち慣れるさ、なんてバカにしていると、いろいろなとやつかいなことが起きてきます。

たった一センチの調節で体が楽になる

一、敷き布団の厚み
敷き布団はかなり厚みがあるようでも、体重が加わると実際には一センチ程度の厚さになってしまいます。腰痛のときは薄く、保温のときは一枚増やすと効果的です。

二、枕の高さ
枕の高さは、首はもとより腰にまで影響するものです。首、肩、腕に問題があるときはいつもより低めの方が症状改善に役立ちます。

三、台所の高さ
調理台が高すぎて、肩こりや腰痛がおこることがあります。

す。ふだんはいているスリッパより、かかとが一センチ高い健康サンダルをはくととても具合がいいです。また、首を下げて調理をする習慣のある人も肩こり、腰痛がおきます。あまり首を下げて調理をしないよう心がけましょう。

四、肩線の高さ
思いきりおなかをへこますと、肩の線が一センチほど上がります。おなかをへこますことで腹筋は緊張しますからそれによって腰や背筋の負担が少なくなり、腹部を刺激して便通をよくします。

五、一センチゆるめを
首のまわりには、とても大切な血管や神経があります。一日中ネクタイ着用で働く人は、特に首まわりが一センチゆるめのシャツを着るよう心がけて下さい。

六、靴のヒールの高さ
ヒールの高い靴は、ボディラインを美しく見せます。しかし、体全体の緊張を高めます。頭痛、肩こり、腰痛、ひざの痛みなど、慢性的な痛みに困っている人は、ヒールが一センチほど低い靴をはいてみて下さい。治療よりも効果があることがあります。

国民年金保険料が4月から改定されます

- 定額保険料 1ヶ月 7,700円 → 8,000円に
- 付加保険料 1ヶ月 8,100円 → 8,400円に

国民年金は、加入者の方が高齢になったとき、不幸にして事故や病気で障害者や母子世帯になったときに、年金によって生活の安定を図ることを目的としています。

年金を支給するために必要な財源は、加入者の方が納める保険料と国の負担によってまかなわれています。

国民年金制度を健全に運営していくために、保険料を4月から1カ月8,000円(付加8,400円)に改定しますが、改定にあたっては加入者の方々の急激な負担増をさけるために段階的に引き上げることにしておりますので、ご理解をお願いします。

**国民年金保険料の納め忘れはありませんか。
63年度分は4月末日が納期限です。**

期日まで必らず納めましょう!

ゴミ収集日4月1日から変更となります

- ◆燃えないゴミの収集日…第1・3土曜日は、第2・4月曜日に
- ◆燃えるゴミの収集日……従来どおり (大岩・鹿部地区は毎週金曜日)
(宮浜・本別地区は毎週木曜日)

お知らせ

労災保険(労働保険)実務講習会開催(鹿部地区)

4月20日(木) 森商工会議所会議室 13:30~16:30

共同調理場などに設置される厨房施設を 所有されている工場・事業所の方々へ

水質汚濁防止法施行令の一部改正により、共同調理場などに設置される厨房施設から排水を公共用水域(河川・湖沼・沿岸海域など)に排出している一定規模以上の工場・事業所を対象にして、排水による水質の汚濁を防止するための、特定施設設置の届け出が必要となりました。

届け出が必要な業種又は事業所の範囲は次のとおりとなっておりますので、該当する工場・事業所は早急にお届け下さい。

該 当 業 種 (事 業 所)	業務に供する部分の総床面積
①共同調理場 (学校給食法、第5条の2に規定する施設)	500㎡以上のもの
②弁当仕出屋及び弁当製造業	360㎡以上のもの
③飲食店(④及び⑤に掲げるものを除く)	420㎡以上のもの
④そば店・うどん店・すし店・喫茶店・ スナック・酒場・その他 一般飲食店(主食と認められる食事を提 供しない飲食店)	630㎡以上のもの
⑤料亭・キャバレー・バーなど	1,500㎡以上のもの

※厨房施設＝調理用の設備、器具が配置され、その施設内において調理が行われる施設。

※総床面積＝業務に供する部分の床面積の合計(例/厨房・客席・従業員の更衣室・倉庫など)

※現に水質汚濁防止法の特定施設の届け出をしている事業所等であっても、上記の該当業種・総面積に該当する場合は新たな届け出が必要です。

届出先…役場企画管財課(公害係)

明るい暮らしの設計、簡易保険郵便年金新加入運動

簡易保険や郵便年金は生命保険及び個人任意年金として保障の提供に加え、その資金は、地方公共団体や政府関係機関等を通じて、学校・住宅・道路整備など豊かで住み良い社会をつくるために役立っています。

不要電波障害防止のための情報提供を

各種電子器具の使用が増えるにつれ、他からの機器から出る不要電波で誤って作動をひき起こす電波障害が増えております。この種の障害は、今後ますます増大することが予想されますので、各種障害事例の情報収集にご協力下さい。

連絡先…北海道電気通信監理局・不要電波障害対策室 札幌☎011-611-8262

ホタテと毒性

毒化している時期のホタテは
全て食べられないのか？

噴火湾産ホタテガイは、昭和52年には噴火湾全体で5万8千トン160億円の生産を見るに至った。しかし、昭和52年頃から養殖ホタテガイの大量斃死と貝毒問題が相次いで発生した。

ここで、昭和57年4月に噴火湾西部はたて漁業総合対策

協議会・噴火湾東部漁業振興対策協議会が発行した「噴火湾とホタテガイ養殖」(著者：西浜雄二氏)から毒化の原因と著者の体験レポートをこの書から抜粋します。

一九七八年噴火湾産ホタテガイの毒化の原因究明にあたることになった西浜氏は日本

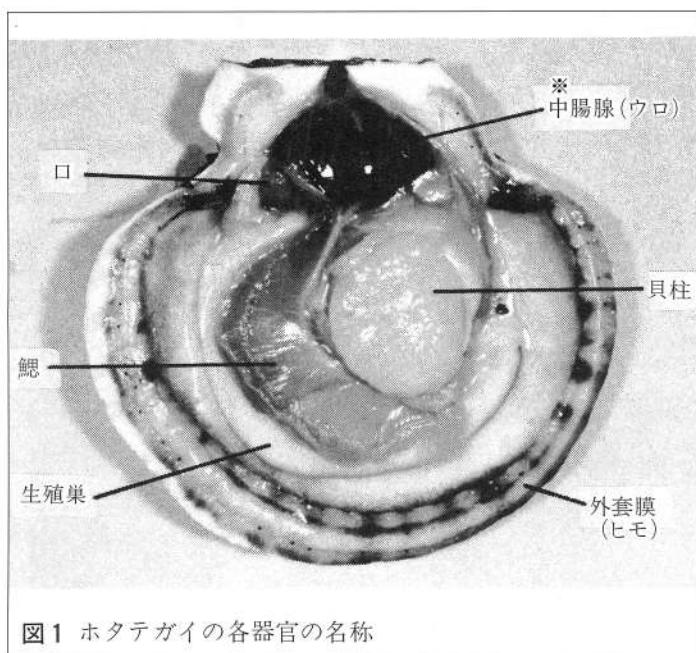


図1 ホタテガイの各器官の名称

で麻痺性貝毒の原因となっているゴニオラックス・カテネラ・グループに似たプランクトンが、噴火湾にいたかどうかを調査。様々な調査研究の結果、一九七八年噴火湾産養殖ホタテガイの毒化の原因は少なくとも主因は、GCF(プロトゴニオラックス)であると結論するに至った。

一 マウス・ユニット

麻痺性貝毒の話になると必ずと言ってマウス・ユニット(MU)という言葉がある。

一MUとは、麻痺性貝毒の場合、20gのマウス(ハツカネズミ)を15分で死亡させる毒量のことである。貝が含んでいる毒量は、日本では検査に用いた貝の部位の1g当りの量で表わされる。例えば、むき身で4MUとは、貝殻を除いた貝1個のむき身が60gあれば、貝1個当りでは(4MU×60g)240MUの毒を含んでいることになる。換言すると、この例では、貝1個で240匹のマウスが15分で死ぬということになる。

一MUは20gのマウスを15分で死亡させる単位

人の致死量は、
3千〜3万MU

人の致死量は、標準的な60kg体重の健康体の人と、そうでない人(老人、子供、弱っている人)などにより差がありますが、これまでの事例から、3千〜3万MUが致死量であるといわれている。

噴火湾海域では過去、千八百MUまで急上昇したことがあります。

各器官の毒量

上記図1に示る箇所において貝の耳状部の側にある黒っぽい丸いものが、中腸腺(通称ウロ)と呼ばれる肝臓であるが、この中に胃がある。

毒プランクトンを摂餌している時期には毒の80〜90%が中腸腺(ウロ)に蓄積されており、貝柱は常に無毒である。

著者らは貝が強く毒化した時期にも、毒性検査の残りの貝柱を食べたが、全く安全であった。……と書いている。

著者の意見は意見として充分注意しながら、おいしい食文化を楽しみたいものです。

貝柱は安全か？

発行/鹿部町 編集/企画管財課 製作/久保内印刷

戸籍の窓

世帯と人口

平成元年2月28日現在
()は前月比です。

世帯数	1,416世帯 (-2)
男	2,551人 (-4)
女	2,547人 (-10)
計	5,098人 (-14)



おたんじょう
おめでとう

氏名	父	住所
逢坂至史	芳行	大岩
田中洋助	剛洋	宮浜
福地弘臣	誠	宮浜
小嶋剛啓	悦	宮浜



おくやみ
もうしあげます

氏名	享年	住所
大村ナミ	七九歳	宮浜
小林ヒナ	八四歳	鹿部
吉泉久子	五四歳	鹿部